



NO.25-28 2025年10月19日

<年間テーマ> 新しい歌を主に向かって歌え

<聖句>

詩編100:1~3

全地よ、主に向かって喜びの叫びを上げよ。／喜び祝い、主に仕え、  
喜び歌って御前に進み出よ。／知れ、主こそ神であると。  
主はわたしたちを造られた。／わたしたちは主のもの、その民  
主に養われる羊の群れ。

コリントの信徒への手紙Ⅱ 5:17

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。  
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

≪神戸教会は2025年に宣教開始75周年を迎えます。≫

## 「イエスの平和」

「平和」は、よく使われる言葉ですが、人によってその理解の仕方は様々です。対立があっても武力や軍事力に頼らず、和解を目指して対話をし続けることが平和であると考えの人がいます。その一方で、自分たちの平和を守るためには、誰にも負けない戦力を保持することが必要だ考える人もいます。同じ「平和」という言葉でも、その理解の仕方や目指す方向が全然違っていたりします。はたして主イエスは、平和について何を教えておられるのでしょうか。

主イエスは「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」(マタイ 5:44)と語りました。この言葉によれば、主が戦いを平和の手段にしていないことは明らかです。敵と見なされる人々と良好な関係を築き、暴力を振るう迫害者のために祈ることを教えられました。主が、その当時のイスラエルを統治していたローマ帝国の軍隊長や、敵対する民族であったサマリア人と親しい交わりをしたことを聖書の物語が伝えています。まさに主イエスはその生き方をもって、自分の言葉を実践されたのです。

さて、現代を生きる私たちはどうでしょうか。今なお続く、民族紛争や戦争のニュースに心が痛まない日はありません。民族が違っただけで敵と見なし、より強力な武器を持つ国や民族がその力を行使して支配・占領しようとしています。主イエスが平和の教えを語られてから二千年以上の時を経いますが、人類のあり方はそれほど変わっていないと言えるでしょう。しかしだからこそ、主イエスの平和の教えが必要とされています。この教えが真実であることを示した主イエスを信じるように、私たちは招かれているのです。【木原桂二】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30~11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前 11:45~12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前 11:45~12:40 (小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前 9:00~10:20(10月26日、11月9・30日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00~10:20(10月26日、11月9・30日)

祈禱会

毎水曜日 午後 19:00~20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は  
牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: [kobe-church.com](http://kobe-church.com)

事務局Eメール: [jimukyoku@kobe-church.com](mailto:jimukyoku@kobe-church.com)



# 《 主日礼拝式次第 》

しかい みなみはら そうがく ふくだけいこ  
司会：南原真生 奏楽：福田恵子

\* 印はご起立願いますが、体調の悪い方などはお座りのままご参加ください。

|           |         |           |                                                 |         |         |          |
|-----------|---------|-----------|-------------------------------------------------|---------|---------|----------|
| ぜん<br>前   |         | そう<br>奏   |                                                 | そう<br>奏 | がく<br>楽 | しゃ<br>者  |
| かい<br>開   | かい<br>会 | しよ<br>唱   |                                                 | せい<br>聖 | か<br>歌  | たい<br>隊  |
| * さん<br>讃 | び<br>美  | か<br>歌    | しんせい<br>新生 3 「あがめまつるうるわしき主」                     | いち<br>一 |         | どう<br>同  |
| かん<br>飲   | げい<br>迎 | いの<br>と 祈 | り                                               | し<br>司  | かい<br>会 | しゃ<br>者  |
| こう<br>交   |         | どく<br>読   | しへん べん れいはい かみ まも<br>詩編 4 6 篇より 「礼拝・神の守り」 3 面参照 | いち<br>一 |         | どう<br>同  |
| こ<br>子    | ども<br>も | メ<br>ッ    | セ<br>ー                                          | じ<br>岩  | わ<br>井  | じゅん<br>潤 |
| さん<br>讃   | び<br>美  | か<br>歌    | しんせい<br>新生 3 3 2 「川のように」                        | いち<br>一 |         | どう<br>同  |
| せい<br>聖   |         | しよ<br>書   | ふくいんしよ しょう せつ<br>マタイによる福音書 5 章 4 3 ～ 4 5 節      | し<br>司  | かい<br>会 | しゃ<br>者  |

( 新約 新共同訳P, 8 口語訳P, 7 )

|            |         |              |                                        |                                 |            |            |
|------------|---------|--------------|----------------------------------------|---------------------------------|------------|------------|
| さん<br>賛    |         | び<br>美       |                                        | せい<br>聖                         | か<br>歌     | たい<br>隊    |
| せん<br>宣    |         | き<br>教       | へいわ<br>「イエスの平和」                        | きはら<br>木 原                      | けいじ<br>桂 二 | せんせい<br>先生 |
| おう<br>応    | とう<br>答 | いの<br>の 祈    | り                                      | いち<br>一                         |            | どう<br>同    |
| * おう<br>応  | とう<br>答 | の<br>さん<br>讃 | び<br>美                                 | しんせい<br>新生 3 2 6 「ガリラヤの風」       | いち<br>一    | どう<br>同    |
| ささ<br>献    | げ<br>も  | の            | いのうえ あかし いわいこう うえさと<br>【井上恵・明石・岩井江・上里】 | いち<br>一                         |            | どう<br>同    |
| * さん<br>讃  | び<br>美  | か<br>歌       | いま か きさんしょう<br>「今、ささぐる」 下記参照           | いち<br>一                         |            | どう<br>同    |
| * しゅ<br>主  | の       | いの<br>祈      | り                                      | しんせはんびか ひら さんしょう<br>(新生讃美歌開き参照) | いち<br>一    | どう<br>同    |
| * しょう<br>頌 |         | えい<br>栄      | せい か きさんしょう<br>「聖なるかな」 下記参照            | いち<br>一                         |            | どう<br>同    |
| * しゅく<br>祝 |         | とう<br>禱      |                                        | きはら<br>木 原                      | けいじ<br>桂 二 | せんせい<br>先生 |
| * ア        | ー       | メ            | ン                                      | 6 8 2-Ⅲ 「アーメン」                  | いち<br>一    | どう<br>同    |

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

◆本日は特別伝道礼拝として木原桂二先生が宣教を担ってくださいます。礼拝後は 12:15～13:30まで木原先生を囲んで合同のひろばがあります。14:00～フェスタ担当者打ち合わせ(東サイド)、14:30～会堂建築委員会(西サイド)があります。また、本日中に壮年会、女性会で選挙管理委員を選出してください。

◆次週 10 月 26 日(日)茂美利勝さん転入会式を予定しています。準備のためにお祈りください。礼拝後は信徒会、13:00～選挙管理委員会、13:30～75 周年実行委員会があります。

◆KOBEBAP(こべばぷ)75(ななごう)フェスタ・マルシェへの献品は今週から受け付けます。品物は東サイドルーム仕分け用のスペースに各自で仕分けをしてください。今週から週日に値札付けなどの作業を行います。お手伝いいただける方は、友定美、上田智、堀野までお知らせください。当日参加・奉仕いただける方も募集中です。どうぞ掲示板にお名前をご記入ください。

◆礼拝後、報告をされる方、各委員会などは、司会者・事務局まで事前にお知らせください。

◆毎週水曜日、19時より祈祷会として聖書の学びと祈りの時を持っています。10月はヨナ書になります。

○オンライン礼拝のためビデオ撮影を行っています。(10:27～終了まで) ○礼拝堂 2 階でお子さまと一緒に礼拝をお守りいただくことができます。○第 1 週は託児があります。

## 祈りの課題

1、神戸バプテスト教会 2025 年度の福音宣教、諸活動のために。

11 月 3 日フェスタ、11 月 16 日子ども祝福礼拝のために。

2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員ために。新年度の入園児が与えられますように。秋の季節の保育のために。

3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。

4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害など、世界各地で被災された方々、支援しておられる方々のために

5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように

6、ミャンマー・タイ、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震など自然災害で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。

7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。

8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。

9、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。

10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。

11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように

### 【連盟・連合・他教会の祈り】

◆日本バプテスト連盟の全国 311 の教会・伝道所のために。10 月 25 日第 71 回定期総会「議案説明会②」を覚えて

◆関西地方教会連合の 34 教会のために。無牧師教会を覚えて。

## 交読文 詩編 46 編

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。  
わたりで。

苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。

わたしたちは決して恐れない、地が姿を変え、山々が揺らいで海の中に移るとも

海の水が騒ぎ、沸き返り、その高ぶるさまに山々が震えるとも

大河とその流れは、神の都に喜びを与える、いと高き神のいます聖所に。

神はその中にいまし、都は揺らぐことがない。

夜明けとともに、神は助けをお与えになる。すべての民は騒ぎ、国々は揺らぐ。

神が御声を出されると、地は溶け去る。

万軍の主はわたしたちと共にいます。ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。

主の成し遂げられることを仰ぎ見よう。主はこの地を庄倒される。

地の果てまで、戦いを断ち、弓を砕き槍を折り、盾を焼き払われる。

力を捨てよ、知れ、わたしは神。国々にあがめられ、

この地であがめられる。

(二同) 万軍の主はわたしたちと共にいます。